

道志小学校 令和のやまなし教育活動モデル事業 実践報告④

「Society5.0に向けたICTリテラシーの育成」

実施年月日	令和5年12月20日(水) 令和6年1月31日(水)	実施時間	1時間×2回
実施形態	教員向け研修会	講師	都留文科大学 吉岡 卓 准教授
<p><b>実施のねらい</b></p> <p>児童が主体的な学習を進める上で、ICT機器や生成AIは有効な学習手段となる。授業をコーディネートする教員が、児童の個別最適な学習を進めるにあたって効果的なICT機器を紹介したり、日常的に授業で活用したりすることによって児童にも認知され、学習方法の選択肢として生かされるように教育環境を充実させる目的で実施した。</p>			
<p><b>活動の概要</b></p> <p>吉岡准教授による講義＋実践形式の教職員向け研修会を実施した。</p> <p>第1回目は、主として新しい教育観に立った授業づくりを進める上で、効果的なICT機器（マザーボード・VRゴーグル・3Dプリンタ等）とその活用に関する実践事例を学んだ。研修の中で具体的にICT機器を操作しながら活用の可能性を検討した。</p> <p>第2回目は、生成AIを小学校の授業で生かす方法について実践的に学んだ。Chat GPTを実際に操作しながら、どんなことができるのか、また、特性(得意・苦手)について学び、授業での生かし方を検討した。</p>			
<p><b>実施によって得られた成果</b></p> <p>(成果) 教員のICT活用に関する知識の向上と実践意欲の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育に活用できるICT機器についての情報が得られた。</li> <li>○生成AIの特性を学び、小学校の授業における活用の可能性を検討できた。</li> <li>○各教職員が、授業におけるICT機器の多様な活用について積極的になった。</li> </ul> <p>※都留文科大学の吉岡准教授から学校の授業で活用できるVRゴーグルや3Dプリンタ等、様々なICT機器を紹介してもらい新しい時代の授業観を展望することができた。生成AIについては、小学生を使用対象としていないが、その特性を知り小学校の授業で活用する可能性について考えることができた。令和の日本型学校教育の実践に向けて、授業観や教育観を大きく展開する必要性を実感することができた。</p>			

## 職員からの感想

- ・ 実際に行くことができない場所の映像をVRゴーグルで見たり、自分の考えたアイデアを3Dプリンタで形にしたりすることで子どもも学び方の選択に幅が広がると感じた。
- ・ プログラミング用のマザーボードや特別支援教育に活用できる教育サイトなど授業で有効に活用できる具体的な情報を得ることができ、とても有意義な研修だった。
- ・ 色々なICT機器があるが、実際に授業で使いこなすのは難しいと思っていた。今回の研修で、新しい時代の授業づくりのために積極的に使っていくことが必要だと思った。
- ・ 生成AIの特性を学んだことで、実際に使って授業をしてみたいと思った。
- ・ 生成AIの活用は、学校教育に善悪両面をもたらすと感じた。使う時には、良い面を生かせるようにしっかりと指導意図をもって授業をしたい。
- ・ 自由進度学習の際には、児童に多様な学習方法を準備する必要がある。ICT機器も生成AIも賢く活用することで学習が充実すると思った。